
赤 潮 情 報(定期赤潮調査結果)

鹿児島県水産技術開発センター
 令和5年10月24日

鹿児島湾 赤潮情報 No.5

[1] 10月24日の調査結果

(1) 赤潮生物の出現状況

通常検鏡（調査定点⑦, ⑨）でシャットネラ マリーナが1細胞/mL, 濃縮検鏡（調査定点③, ⑪）で同種が0.014~0.017細胞/mL確認されました。

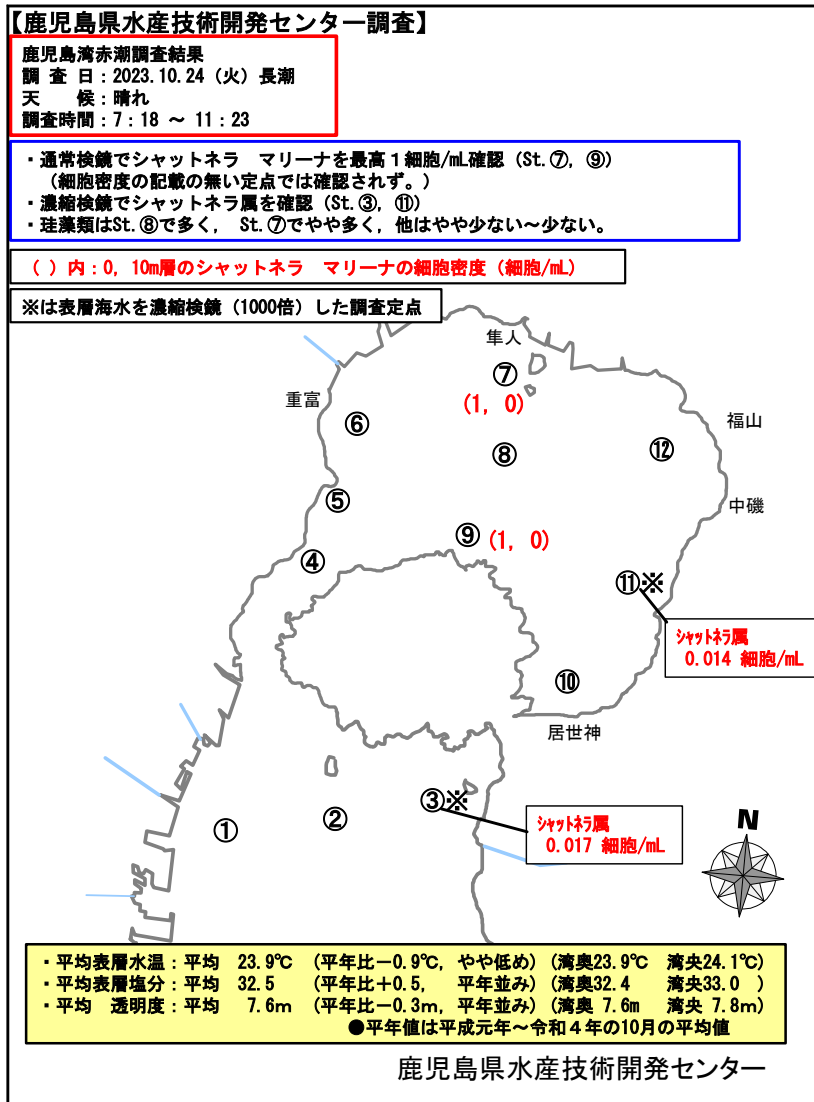
また、珪藻類は定点⑧で多く、定点⑦でやや多く、他の定点はやや少ない~少ない状況でした。

(2) 海況

平年値と比べ表層水温は平年よりやや低めで、湾奥部で23.6~24.3℃, 湾中部で23.9~24.5℃, 塩分は平年並みで32.1~33.4, 透明度は平年並みで6.0~10.0mとなっています。

水温：平均	23.9℃	湾奥部	23.9℃	湾中部	24.1℃
塩分：平均	32.5	湾奥部	32.4	湾中部	33.0
透明度：平均	7.6m	湾奥部	7.6m	湾中部	7.8m

（平年値は平成元年~令和4年の10月の平均値）



[2] 今後の赤潮発生の予想

鹿児島湾では昨年度も10月にシャットネラ マリーナの増殖が確認されたことから、しばらくは同種の増殖に注意が必要です。

なお、各漁協・養殖業者におかれましては、今後も有害赤潮プランクトンの早期発見のため、定期的な検鏡を継続するなど、監視をお願いします。

※シャットネラ マリーナの特徴

- ・適水温23~26℃, 適塩分30以下
- ・魚毒性が強く, 致死細胞密度はブリ及びカンパチで, 約2,000細胞/mL

（次回調査は11月上旬を予定）

赤潮情報(携帯用)：<http://kagoshima.suigi.jp/akashio/i/index.shtml>

赤潮情報(パソコン用)：<http://kagoshima.suigi.jp/akashio/newHP/index.html>

